

NEWS目次

<p>■ 01 2018 特別展開催!! ～妻木頼黄のすべてをたどる～</p> <p>■ 02 第1回赤レンガ塾 ～特別展の勉強会・座談会～</p> <p>■ 03 平成29年度定時総会</p> <p>■ 04 カプトビールフェスタ 2018</p>	<p>■ 05 第2回赤レンガ塾 ～大日本麦酒展の勉強会・座談会～</p> <p>今後の事業計画</p> <p>① 120歳の誕生会(10/27)</p> <p>② 赤煉瓦ネットワーク横浜大会(11/10～11)</p> <p>③ ホトリ酒場へ出店予定(11/22～23)</p>
---	--

NEWS 01

2018 特別展開催!!

～妻木頼黄のすべてをたどる!!～

平成30年4月21日～5月20日の1



か月間、2018特別展を開催しました。テーマは「半田赤レンガ建物を

設計した妻木頼黄のすべてをたどる!」です。常設展示室で妻木頼黄のコーナーはありますが、少なくともそのコーナーを見て、彼の人生がどのような人生だったのか?当時日本建築界の中でどのように評価されていたのか?はわかりません。そこで、今回は妻木頼黄の出生から亡くなるまでの人生を幅広く・深くたどってみることにしました。

テーマを決めたものの、手元には詳細資料は



ごくわずか。そこで過去からお世話になっている神奈川県立歴史博物館に相談をしたところ、明治村、日本建築学会等々をご紹介いただき、膨大な資料を入手することができました。また、妻木頼黄のルーツとなる岐阜県土岐市妻木町の妻木城址の会と接触したところ快く資料提供をいただきました。また、村井眞哉様のご協力により妻木頼黄の代表的な作品の



写真展を同時に開催することが出来ました。関係各位に厚く感謝申し上げます。

期間中の入場者数は27,500人で、昨年よりも12,500人増でした。今回のパネル展をご覧になった方は、妻木頼黄が日本国の近代化に大きく貢献した人物で、半田赤レンガ建物を設計した当時、すでに超一流の有名な建築家だったということを知っていただいたと思います。そんな超一流建築家が設計した半田赤レンガ建物、普通ではあり得ませんが、事実として半田に存在しているのです。この貴重な建物、



後世に永く引き継いでいきたいと思っています。(馬場記)

■NEWS 02 第1回赤レンガ塾

～妻木展勉強会＋懇親会～

馬場理事長の渾身の調査結果を披露した妻木展、4月21日～5月20日の間で開催されました。



妻木展を見て、少しでも多くの方が妻木の凄さや当時の背景を理解し、半田赤レンガ建物の設計に至った経緯を深く知る。

更に、赤煉瓦倶楽部半田の会員一人一人が妻木と半田赤レンガ建物の凄さを知り、もっと半田赤レンガ建物を愛すると同時に倶楽部の活動を活性化したい。そんな思いから5月13日(日)に妻木展解説会＋懇親会を開きました。

当日は倶楽部員とCOAのメンバーが会場に集結、馬場理事長の熱い解説に耳を傾けました。その後は、解説より



もっともっと楽しいカフェでのプチ懇親会



です。会員同士の楽しい会話に加え、倶楽部謹製のコーヒーカップがもらえるクイズがあり、皆さん

大盛り上がりとなりました。参加した私自身も知識欲と物欲にかられ、今までにない興奮を覚えたひと時でした。(宮原記)

■NEWS 03

平成29年度定時総会開催される!!

～より結びつきを深く～

平成29年度定時総会が平成30年6月16日赤レンガ建物にて、本年度より新たに就任された半田市役所 滝本市民経済部長・竹内観光課長・半田市観光協会 榊原事務局長と半田赤レンガ建物 服部館長をご来賓にお招きしてフレッシュな緊張感に包まれ開催されました。

議事の29年度事業報告では、4月「全国の赤煉瓦建物ぶらり展」、7月「カプトビール



フェスティバル2017」で明治28年のカプトビールとアサヒビールのピアホールを再現し、特別展も開催、

9月には倶楽部設立当時ご縁の深い佐々木葉先生をお招きし20周年記念式典と講演会を開催。10月には5年に一度の「はんだ山車まつり」に出展、赤煉瓦ネットワーク敦賀大会に参加する等々、一年間フル活動で積極的に活動した事業報告及び会計報告が、永田・宮原両副理事長より報告された。昨年度は毎月のように事業が重なり大変忙しい一年でしたが、充実した活動であったことを思い出されます。第4号議案で昨年度同様の役員の再任が決まりましたが、我が倶楽部役員もフレッシュな仲間参加を望まれるところです。続いて、30年度の事業計画案・予算案が承認され、新たな活動計画がスタートしました。

会員との意見交換では、会員の皆さんの



活動の場を広め勉強会や交流会などで親睦を深める場が必要との意見があり、今後

の活動の中で行政や観光協会、半田赤レンガ建

物管理者との連携を密にし、全体事業や会員の皆さんとの結びつきを深める活動を実行しながら、半田赤レンガ建物の更なる活性化に努めることを確認しました。(平岡記)

■NEWS 04

カブトビールフェスタ 2018

～大日本麦酒時代の兄弟たちの競い合い～

今年も「カブトビールフェスタ 2018」が7月14・15・16日にて盛大に開催されました。



ビールに合うおつまみNo.1を決める「おつまみグランプリ」、軽やかなステージ音楽イベント、子ども達に大

人気の「ウォーターサバイバルゲーム」など、盛りだくさんの企画となり賑やかな3日間となりました。

屋外では「大日本麦酒株式会社」で時を同じくしたアサヒビール、恵比寿ビール・サッポロビール・カブトビールのビアホールを各社多大なるご支援をいただきながら再現し、大ビール会社の存在を知っていただけたと共に過去の華やかなビール戦略の一部を垣間見たような



気がします。やあ～とにかく暑い、暑い。今年は例年になく猛暑に見舞われ、かなり大変な状況でしたが、多くの倶楽部員にビールサーバーが取扱えるよう事前に準備をいただきまして、来場者に美味しいビールを提供

することが出来ました。特にCOAメンバーのみなさんの力は絶大で、やあ～助かりました。心より感謝



いたします。また、同時に企画展示室では～大日本麦酒時代の”兄弟”たちのビール展～と題し、貴重な歴史絵巻を展示しました。来館いただいた方々も少なからず興味をいただき、歴史の一端を体感していただけたと思います。

これからも、もっともっとカブトビールの魅力やこの赤レンガ建物に携わった人々の情熱や信念を皆様にお伝えしたいと思っております。皆様、本当に暑い中～お疲れ様でした。

(左右木記)

■NEWS 05

第2回赤レンガ塾

～大日本麦酒展勉強会+座談会～

特別展「大日本麦酒時代の“兄弟”たちのビール展」は、7月14日(土)、15日(日)、16日(月・祝)の「カブトビールフェスタ」と同時に企画展示室にて開幕し、8月15日(水)までの開催期間にまで2万人を超えるお客様



にご来場いただきました。倶楽部も特別展に共催し、企画・準備を担いました。

8月5日(日)には、妻木展でも大変好評だった倶楽部会員向け特別パネル展の勉強会(解説会・懇親会)を開催、30名が参加しました。講師はもちろん馬場理事長です。

カブトビールは、昭和8年に大日本麦酒株式会社と合併し、戦前までアサヒビール、サッポロビール、エビスビールと同じ会社に所属し



ていましたが、“兄弟”となるまでの各社の歴史を辿ることで、カブトビールが

国民的ビールであったこと、ビール産業が当時の国家戦略プロジェクトであったことがよくわかりました。解説会で浪漫に浸った後は、恒例のカフェ・ブリックでの懇親会。生カブトビールで乾杯し、ドイツパンを満喫。講師が解説

にヒントを仕込んでおいたクイズ大会(賞品付)で大いに盛り上がりました。(中野記)

今後の事業計画

(1)半田赤レンガ建物 120 歳の誕生会

■日時:平成 30 年 10 月 27 日(土)

■場所:半田赤レンガ建物クラブハウス C、カフェ

■日程:第一部 記念式典 16:00~16:30

第二部 記念講演 16:30~17:30

講師:神奈川大学 准教授

大島 朋剛氏

第三部 誕生祝賀会 18:00~19:30

■内容:特製ケーキを囲み長寿をお祝いします

(2)赤煉瓦ネットワーク横浜大会

■日時:平成 30 年 11 月 10 日(土)・11 日(日)

※9 月 22 日に締め切りました。

参加者 22 名でマイクロバス運行予定

(3)初企画「ホトリ酒場」へ出店予定

■日時:平成 30 年 11 月 22 日(金)23 日(土)

■時間:夕方~夜(詳細未定)

■場所:半田運河周辺

■内容:生カフトビール出店&半田赤レンガ建物の PR

※ canal night の秋バージョンで、知多半島の

6 つの酒蔵・サントリー知多・カフトビールが勢揃いの予定。

詳細決定次第ご案内します。

■ 定 款 (抄)

【法人の名称】

一般社団法人赤煉瓦倶楽部半田

【目 的】

当法人は、貴重な旧カフトビール工場の半田赤レンガ建物及び旺盛な起業家精神を顕彰するとともに、後世に引き継ぎ、それを活かしたまちづくりに関する事業を行うとともに、赤煉瓦に関係するネットワークと連携し、赤煉瓦を活かしたまちづくりを支援する活動を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

【会 費】

(1) 入会金 1,000 円

(2) 年会費

① 個人会員 2,000 円

② 法人・団体会員 10,000 円
(団体は 10 名以上)

③ ボランティア会員 無料

【活動年度】

毎年 4 月 1 日~翌年 3 月 31 日

総会は、毎年 1 回開催する

【運 営】

当会の運営は理事会で行う。運営にあたり次の役員を置く。

(1) 理事 5人以上

(2) 監事 1人以上

理事のうち、一人を理事長、2人を副理事長とする。

【事業年度】

毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの年 1 期とする。

【年会費振込先】

知多信用金庫本店営業部

普通 0554403

(社)赤煉瓦倶楽部半田

■ 編集後記

会報誌年 3 回発行を計画してから 3 年、結局 2 回発行にとどまっていた。でも今期はこれで 2 回目、来年早々発刊も含め目標達成が出来そうです。今号は 4 月~7 月の事業について、当倶楽部の主要事業である「調査研究事業」としてパネル展を 2 回実施しました。解説会も含め、当初の目標を達成できたのではないのでしょうか(NB)